

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 ワインディング	区分	必修	授業時数	110時間	対象学年	1 年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有				
学修内容	美容師は、施術をお客様に提供する職業である為、実践例の分野は非常に重要になってくる。それらの分野について詳しく学んでいき、美容師の基礎ともいえるワインディングを理解し、実務においても役立てられるよう豊富な知識を身につけていく。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、ワインディング用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	ワインディングを始めるにあたって	ワインディングに使う美容用語					
第2回		机上設置と用具の説明・ウィッグの手入れ方法					
第3回		コームの名称、持ち方、パートの取り方、					
第4回	道具の使い方	ブロッキングの説明					
第5回	ブロッキング	正中線をまっすぐ、狭く、広くとる練習					
第6回		センターブロッキングをとる					
第7回							
第8回	上巻き	ブロッキング、センター、1〜4ブロッキングを取る					
第9回		ロッドとペーパーで上巻き練習・デモンストレーション					
第10回							
第11回	下巻き	デモンストレーション、下巻き実践					
第12回							
第13回							
第14回	センター	センターを平行に巻けるように練習					
第15回							
第16回							
第17回	バックサイド	バックサイド巻き方説明・デモンストレーション					
第18回		左右バックサイド実践					
第19回							
第20回	サイド	サイド巻き方説明・デモンストレーション					
第21回		実践					
第22回							
第23回	バックサイド サイド	バックサイド・サイドの練習					
第24回							
第25回							
第26回	タイム計測	達成度を見ながらタイム計測					
第27回							
第28回							
第29回	下巻き・上巻きチェック	巻き方のチェック					
第30回							
第31回							
第32回	タイム計測	達成度を見ながらタイム計測					
第33回							
第34回							
第35回	チェックテスト	ブロッキング5分					
第36回		ワインディング35分チェックテスト					
第37回							
第38回	タイム計測	達成度を見ながらタイム計測					
第39回							
第40回							
第41回	タイム計測	達成度を見ながらタイム計測					
第42回							
第43回							
第44回	タイム計測	達成度を見ながらタイム計測					
第45回							
第46回							
第47回	タイム計測	達成度を見ながらタイム計測					
第48回							
第49回							
第50回	タイム計測	達成度を見ながらタイム計測					
第51回							
第52回							
第53回	タイム計測	達成度を見ながらタイム計測					
第54回							
第55回							

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 ワインディング	区分	必修	授業時数	110時間	対象学年	1 年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有				
学修内容	美容師は、施術をお客様に提供する職業である為、実践例の分野は非常に重要になってくる。それらの分野について詳しく学んでいき、美容師の基礎ともいえるワインディングを理解し、実務においても役立てられるよう豊富な知識を身につけていく。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、ワインディング用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第54回	基本の見直し	スライスに対して並行・ベースに収める面・シェーブの見直し					
第55回							
第56回							
第57回							
第58回	前期試験に向けて	オールバックから巻けるように練習					
第59回							
第60回							
第61回							
第62回	基本の見直し	オールパーパス見直し					
第63回							
第64回							
第65回							
第66回	新課題	使用ロッド・ブロッキング説明					
第67回							
第68回							
第69回							
第70回	新課題 (ブロッキング別)	ブロッキング・スライス・オンベース部分・オフベース部分・スライス線・ステム確認・オンベース強化・ 【理論の理解】説明・確認・強化					
第71回							
第72回							
第73回							
第74回							
第75回							
第76回							
第77回							
第78回	新課題 (4 ブロッキング)	全頭巻き・スライス線・ステム確認・バランス強化・ブロッキング強化・タイム意識					
第79回							
第80回							
第81回							
第82回	新課題 (12ブロッキング)	全頭巻き・スライス線・ステム確認・バランス強化					
第83回							
第84回							
第85回							
第86回	新課題 (4 ブロッキング)	チェックテスト					
第87回							
第88回							
第89回							
第90回	新課題 (4 ブロッキング)	総復習					
第91回							
第92回							
第93回							
第94回	総復習	総復習					
第95回							
第96回							
第97回							
第98回	総復習	新課題25分					
第99回							
第100回							
第101回							
第102回	総復習	新課題25分					
第103回							
第104回							
第105回							
第106回	総復習	新課題25分					
第107回							
第108回							
第109回							
第110回	後期試験	新課題25分					

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 ワインディング	区分	必修	授業時数	140時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	美容師は、施術をお客様に提供する職業である為、実践例の分野は非常に重要になってくる。それらの分野について詳しく学んでいき、美容師の基礎ともいえるワインディングを理解し、実務においても役立てられるよう豊富な知識を身につけていく。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、ワインディング用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	配列 シェーブ ステムの確認、強化 センターの強化	・ 最初授業チェックテスト（20分） ・ ブロッキング、スライス線などの確認と練習 ・ センターのロッドの位置（正中線）、水平の確認と練習 ・ センターのスライス線、ステムの角度の確認と練習 ・ ブロック毎、全頭のタイム取り など				初回授業チェックテスト（20分）	
第2回							
第3回							
第4回							
第5回							
第6回							
第7回							
第8回							
第9回							
第10回							
第11回	全体のバランス強化 バックサイドの強化 全頭タイム20分	・ センターとバックサイドのロッドのつながり及び配列 の確認と強化 ・ 左右のシンメトリー ・ バックサイドのラウンド ・ ○×採点の審査項目確認					
第12回							
第13回							
第14回							
第15回							
第16回							
第17回							
第18回	全体のバランス強化 バックサイドの強化 全頭タイム20分	・ センターとバックサイドのロッドのつながり及び配列 の確認と強化 ・ 左右のシンメトリー ・ バックサイドのラウンド ・ ○×採点の審査項目確認					
第19回							
第20回							
第21回							
第22回							
第23回							
第24回							
第25回		・ センターとバックサイドのロッドのつながり及び配列 の確認と強化 ・ 左右のシンメトリー ・ バックサイドのラウンド ・ ○×採点の審査項目確認					
第26回							
第27回							
第28回							
第29回							
第30回							
第31回							
第32回							
第33回							
第34回							
第35回	シェーブ ステムの強化 フロントの強化 全頭タイム18分	《シェーブ》 ・ ストランドのシェーブ ・ 毛髪の重なり、ゆるみ ・ 毛先の処理 《ステムの角度と方向性》 ・ オンベースと1/2オフベースのステムの状態 又そのつながりの状態 ・ ステムの角度・方向とロッドの浮き 《フロント》 ・ フロントのスライスの取り方とロッドのおさまり					
第36回							
第37回							
第38回							
第39回							
第40回							
第41回							
第42回							
第43回							
第44回							
第45回							
第46回							

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 ワインディング	区分	必修	授業時数	140時間	対象学年	2 年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	美容師は、施術をお客様に提供する職業である為、実践例の分野は非常に重要になってくる。それらの分野について詳しく学んでいき、美容師の基礎ともいえるワインディングを理解し、実務においても役立てられるよう豊富な知識を身につけていく。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、ワインディング用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第47回	配列 シンメトリー強化 ラバーのかけ方強化 全頭タイム20分	・バックサイド・サイドのシンメトリー ・スライス線のゆがみ 《ラバーのかけかた》 ・ロッドの中央に平行にかける					
第48回							
第49回							
第50回							
第51回							
第52回							
第53回							
第54回							
第55回	国家試験採点基準を元にレベルアップ 全頭19分	《採点基準》 ・ロッドのつながりと配列 ・ステムの角度と方向性 ・シェーブ ・シンメトリ					
第56回							
第57回							
第58回							
第59回							
第60回							
第61回	国家試験採点基準を元にレベルアップ 全頭19分	《採点基準》 ・ロッドのつながりと配列 ・ステムの角度と方向性 ・シェーブ ・シンメトリ					
第62回							
第63回							
第64回							
第65回							
第66回							
第67回	国家試験採点基準を元にレベルアップ 全頭タイム18分	・タイムアップ（時間に余裕をつくる） ・前期試験にむけてレベルアップ 《採点基準》 ・ロッドのつながりと配列 ・ステムの角度と方向性 ・シェーブ ・シンメトリ ・○×採点項目確認					
第68回							
第69回							
第70回							
第71回							
第72回							※前期試験20分
第73回							
第74回							
第75回							
第76回							
第77回							
第78回							
第79回							
第80回							
第81回							
第82回							
第83回							
第84回							
第85回							
第86回							
第87回							

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 ワインディング	区分	必修	授業時数	140時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	美容師は、施術をお客様に提供する職業である為、実践例の分野は非常に重要になってくる。それらの分野について詳しく学んでいき、美容師の基礎ともいえるワインディングを理解し、実務においても役立てられるよう豊富な知識を身につけていく。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、ワインディング用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第88回	国家試験採点基準を元にレベルアップ 全頭タイム18分 国家試験衛生対策						
第89回							
第90回							
第91回							
第92回							
第93回							
第94回							
第95回							
第96回							
第97回							
第98回							
第99回							
第100回							
第101回							
第102回							
第103回							
第104回							
第105回							
第106回							
第107回							
第108回							
第109回							
第110回							
第111回							
第112回							
第113回							
第114回							
第115回							
第116回							
第117回							
第118回							
第119回							
第120回							
第121回							
第122回							
第123回							
第124回							
第125回							
第126回							
第127回							
第128回							
第129回							
第130回							
第131回							
第132回							
第133回							
第134回							
第135回							
第136回							
第137回							
第138回							
第139回							
第140回							

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 セッティング	区分	必修	授業時数	100時間	対象学年	1 年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有				
学修内容	国家試験課題 オールウェーブセッティングの技術の習得						
到達目標	美容師国家試験合格および後期実技試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心に行う。必要事項を板書し、反復して練習を行い実技習得を目指す。学生の完成度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	定期試験前にチェックテストや放課後の強化レッスンをを行い、技術の完成度を高める						
実務経験に基づく授業内容	美容師としてお客様を綺麗にする技術力はもちろん、接客をする上でのマナーや言葉遣いなどの接客力にも力を入れています。そして国家試験課題、オールウェーブセッティングには、美容に必要なコームの持ち方や力の入れ方、頭の大きさを丸みを理解しピンカールなど正確に作る技術が求められます。美容師経験から就職してからもどの技術にも通じる基本的な要素がたくさん含まれていると考えます。授業ではただ単純に技術を教えるのではなく、この技術が何に必要でどう応用されるのかを詳しく伝え、学生でも理解しやすい授業を心がけています。						
使用教材	教科書（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、セッティング用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	ストレートパーマ	根元のストレートパーマ					
第2回							
第3回							
第4回							
第5回	パーマ	毛先のパーマ					
第6回							
第7回							
第8回							
第9回	フィンガーウェーブ	ローションの馴染ませ方					
第10回		ウェーブ、リッジの作り方					
第11回							
第12回							
第13回	フィンガーウェーブ	ウェーブ、リッジの作り方					
第14回							
第15回							
第16回							
第17回	スカルプチュアカール	スカルプチュアカールの作り方					
第18回							
第19回							
第20回							
第21回	1 段目	ブロッキング、噴水の仕方、スライスの取り方、スカルプチュアカール					
第22回							
第23回							
第24回							
第25回	2 段目	ウェーブバランス					
第26回							
第27回							
第28回							
第29回	3 段目	ウェーブバランス ピンカールの配置 3 段目のバランス スカルプチュアカール 全体のバランスの確認					
第30回							
第31回							
第32回							
第33回	1 ～ 3 段目の復習	ウェーブの確認 タイムアップ					
第34回							
第35回							
第36回							
第37回	4 ～ 7 段目	ブロッキング、ウェーブのバランス					
第38回							
第39回							
第40回							
第41回	クロッキノールカール	クロッキノールカールの作り方、バランス					
第42回							
第43回							
第44回							
第45回	リフトカール	リフトカールの作り方					
第46回							
第47回							
第48回							
第49回							
第50回							

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 セッティング	区分	必修	授業時数	100時間	対象学年	1 年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有				
学修内容	国家試験課題 オールウェーブセッティングの技術の習得						
到達目標	美容師国家試験合格および後期実技試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心に行う。必要事項を板書し、反復して練習を行い実技習得を目指す。学生の完成度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	定期試験前にチェックテストや放課後の強化レッスンをを行い、技術の完成度を高める						
実務経験に基づく授業内容	美容師としてお客様を綺麗にする技術力はもちろん、接客をする上でのマナーや言葉遣いなどの接客力にも力を入れています。そして国家試験課題、オールウェーブセッティングには、美容に必要なコームの持ち方や力の入れ方、頭の大きさを丸みを理解しピンカールなど正確に作る技術が求められます。美容師経験から就職してからもどの技術にも通じる基本的な要素がたくさん含まれていると考えます。授業ではただ単純に技術を教えるのではなく、この技術が何に必要でどう応用されるのかを詳しく伝え、学生でも理解しやすい授業を心がけています。						
使用教材	教科書（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、セッティング用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第51回	リフトカール	リフトカールの作り方					
第52回							
第53回							
第54回							
第55回	メイポールカール	メイポールカールの作り方					
第56回							
第57回							
第58回							
第59回	ピンカール強化	全部のピンカール強化					
第60回							
第61回							
第62回							
第63回	ウェーブ、ピンカールの バランス強化	ウェーブとピンカール両方のバランス強化					
第64回							
第65回							
第66回							
第67回							
第68回							
第69回							
第70回							
第71回							
第72回							
第73回							
第74回							
第75回							
第76回							
第77回							
第78回							
第79回							
第80回	タイムアップ	タイムアップ全頭40分					
第81回							
第82回							
第83回							
第84回		タイムアップ全頭35分					
第85回							
第86回							
第87回							
第88回		タイムアップ全頭30分					
第89回							
第90回							
第91回							
第92回		タイムアップ全頭25分					
第93回							
第94回							
第95回							
第96回							
第97回							
第98回							
第99回							
第100回							

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 セッティング	区分	必修	授業時数	130時間	対象学年	2 年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有				全コース
学修内容	国家試験課題のオールウェーブセッティング技術の習得。オールウェーブセッティングは、美容の基礎のすべてが学べる為必要な技術である。ピン打ち、シェーピング、コームの持ち方から基本となる技術が習得できるので基本を確認。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達。						
授業の方法	授業は実習を中心として行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	前後期各 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の 具体的内容	特になし						
実務経験に基づく 授業内容	オールウェーブは、美容の基礎がすべて習得できる技術である。 ピンカールを使った技術でパーマを当てたり、セットしたりとサロンで実際に使う技術であるため、サロンワークの経験を通して話を交えながら実習を行う。 オールウェーブの歴史、文化にも触れる事で学生の興味も引きながら授業に取り入れていく。						
使用教材	実習道具一式・ローション等						
履修に 当たっての 留意点	ローションを扱うため、ウィッグの脱毛、悪臭などが起こり得るため、取扱いに注意する。						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	1, 3, 7段 ピンカール	1 年時の復讐					
第2回		〃					
第3回		〃					
第4回		〃					
第5回		〃					
第6回		〃					
第7回		〃					
第8回		〃					
第9回		オールウェーブのバランス（ブロッキング）					
第10回		〃					
第11回		〃					
第12回		〃					
第13回		〃					
第14回		〃					
第15回		〃					
第16回		〃					
第17回		クロッキノールカールの復讐					
第18回		〃					
第19回		〃					
第20回		〃					
第21回		〃					
第22回		〃					
第23回		〃					
第24回		〃					
第25回	右リフトカール	デモンストレーション・実習					
第26回		〃					
第27回		〃					
第28回		〃					
第29回		〃					
第30回		〃					
第31回		〃					
第32回		〃					
第33回		〃					
第34回		〃					

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 セッティング	区分	必修	授業時数	130時間	対象学年	2 年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有				全コース
学修内容	国家試験課題のオールウエーブセッティング技術の習得。オールウエーブセッティングは、美容の基礎のすべてが学べる為必要な技術である。ピン打ち、シェーピング、コームの持ち方から基本となる技術が習得できるので基本を確認。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達。						
授業の方法	授業は実習を中心として行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	前後期各 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の 具体的内容	特になし						
実務経験に基づ く授業内容	オールウエーブは、美容の基礎がすべて習得できる技術である。 ピンカールを使った技術でパーマを当てたり、セットしたりとサロンで実際に使う技術であるため、サロンワークの経験を通して話を交えながら実習を行う。 オールウエーブの歴史、文化にも触れる事で学生の興味も引きながら授業に取り入れていく。						
使用教材	実習道具一式・ローション等						
履修に 当たっての 留意点	ローションを扱うため、ウィッグの脱毛、悪臭などが起こり得るため、取扱いに注意する。						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第35回	右リフトカール	〃					
第36回		〃					
第37回	左リフトカール	デモンストレーション・実習					
第38回		〃					
第39回		〃					
第40回		〃					
第41回		〃					
第42回		〃					
第43回	左リフトカール	デモンストレーション・実習					
第44回		〃					
第45回		〃					
第46回		〃					
第47回		〃					
第48回		〃					
第49回	左リフトカール	デモンストレーション・実習					
第50回		〃					
第51回		〃					
第52回		〃					
第53回		〃					
第54回		〃					
第55回		〃					
第56回		〃					
第57回		〃					
第58回	メイポールカール	デモンストレーション・実習					
第59回		〃					
第60回		〃					
第61回		〃					
第62回		〃					
第63回		〃					
第64回		〃					
第65回		〃					
第66回		〃					
第67回		〃					
第68回		〃					

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 セッティング	区分	必修	授業時数	130時間	対象学年	2 年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有				全コース
学修内容	国家試験課題のオールウェーブセッティング技術の習得。オールウェーブセッティングは、美容の基礎のすべてが学べる為必要な技術である。ピン打ち、シェーピング、コームの持ち方から基本となる技術が習得できるので基本を確認。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達。						
授業の方法	授業は実習を中心として行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	前後期各 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の 具体的内容	特になし						
実務経験に基づ く授業内容	オールウェーブは、美容の基礎がすべて習得できる技術である。 ピンカールを使った技術でパーマを当てたり、セットしたりとサロンで実際に使う技術であるため、サロンワークの経験を通して話を交えながら実習を行う。 オールウェーブの歴史、文化にも触れる事で学生の興味も引きながら授業に取り入れていく。						
使用教材	実習道具一式・ローション等						
履修に 当たっての 留意点	ローションを扱うため、ウィッグの脱毛、悪臭などが起こり得るため、取扱いに注意する。						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第69回	ピンカール（全部）	タイム計測					
第70回		〃					
第71回		〃					
第72回		〃					
第73回		〃					
第74回		〃					
第75回		〃					
第76回		〃					
第77回		〃					
第78回		〃					
第79回	オールウェーブ ブロッキングまで	タイム計測					
第80回		〃					
第81回		〃					
第82回		〃					
第83回		〃					
第84回		〃					
第85回		〃					
第86回		〃					
第87回		〃					
第88回	オールウェーブ ブロッキングまで	タイム計測					
第89回		〃					
第90回		〃					
第91回		〃					
第92回		〃					
第93回		〃					
第94回	国家試験課題 ノーパート7 段構成	タイム計測（30分）					
第95回		〃					
第96回		〃					
第97回		〃					
第98回		〃					
第99回		〃					
第100回		〃					
第101回		〃					
第102回		〃					

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 セッティング	区分	必修	授業時数	130時間	対象学年	2 年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有				全コース
学修内容	国家試験課題のオールウェーブセッティング技術の習得。オールウェーブセッティングは、美容の基礎のすべてが学べる為必要な技術である。ピン打ち、シェーピング、コームの持ち方から基本となる技術が習得できるので基本を確認。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達。						
授業の方法	授業は実習を中心として行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	前後期各 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の 具体的内容	特になし						
実務経験に基づ く授業内容	オールウェーブは、美容の基礎がすべて習得できる技術である。 ピンカールを使った技術でパーマを当てたり、セットしたりとサロンで実際に使う技術であるため、サロンワークの経験を通して話を交えながら実習を行う。 オールウェーブの歴史、文化にも触れる事で学生の興味も引きながら授業に取り入れていく。						
使用教材	実習道具一式・ローション等						
履修に 当たっての 留意点	ローションを扱うため、ウィッグの脱毛、悪臭などが起こり得るため、取扱いに注意する。						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第103回	国家試験課題 ノーパート7段構成	〃					
第104回		〃					
第105回		〃					
第106回		〃					
第107回	国家試験課題 ノーパート7段構成	タイム計測（25分）					
第108回		国家試験課題タイム合格レベルに					
第109回		〃					
第110回		〃					
第111回		〃					
第112回		〃					
第113回		〃					
第114回		〃					
第115回		〃					
第116回		〃					
第117回		〃					
第118回		〃					
第119回		〃					
第120回		〃					
第121回		〃					
第122回		〃					
第123回		〃					
第124回		〃					
第125回		〃					
第126回		〃					
第127回		〃					
第128回		〃					
第129回		〃					
第130回		〃					

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 カット	区分	必修	授業時数	60時間	対象学年	1 年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有				
学修内容	美容業を規律している美容師法令、および美容業に関連する法律について学ぶ。 国家試験で求められる知識のみならず、その後の業務において遵守すべき規範となるよう深い理解を求める。						
到達目標	サスーンスクールシップコンテストに向けてのスタイルを切れるようにする						
授業の方法	スタイルを切る前に理論を座学してから実習に入る						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の 具体的内容	ノートを使用しての復習						
実務経験に基づく授業内容	講師が現役のサロンスタッフが来て教えています。サロンワークでの経験を活かし、サロンに入ってからスムーズに仕事ができるような授業を行っています。						
使用教材	カット道具一式						
履修に 当たっての 留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	カットの流れ・説明	自己紹介・カットの流れ・道具説明・キャリング・ブロッキング				1回2Hずつの授業	
第2回	ワンレングス	キャリング・4ブロッキング・ワンレングスデモ・カット				1回2Hずつの授業	
第3回	ワンレングス	キャリング・ワンレングスカット				1回2Hずつの授業	
第4回	ワンレングス	キャリング・ワンレングスカット・ブロー				1回2Hずつの授業	
第5回	ワンレングス	キャリング・ワンレングスカット・ブロー				1回2Hずつの授業	
第6回	ワンレングス	キャリング・ワンレングスカット・ブロー				1回2Hずつの授業	
第7回	ワンレングス	キャリング・ワンレングスカット・ブロー				1回2Hずつの授業	
第8回	ワンレングス	ワンレングスカット・ブローチェックテスト				1回2Hずつの授業	
第9回	グラデーションボブ	グラデーションボブデモ・カット				1回2Hずつの授業	
第10回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー				1回2Hずつの授業	
第11回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー				1回2Hずつの授業	
第12回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー				1回2Hずつの授業	
第13回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー				1回2Hずつの授業	
第14回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー				1回2Hずつの授業	
第15回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー				1回2Hずつの授業	
第16回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー				1回2Hずつの授業	
第17回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー				1回2Hずつの授業	
第18回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー				1回2Hずつの授業	
第19回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー				1回2Hずつの授業	
第20回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブローチェックテスト				1回2Hずつの授業	
第21回	サスーンスタイル	サスーンスタイルデモ・カット				1回2Hずつの授業	
第22回	サスーンスタイル	サスーンスタイルカット				1回2Hずつの授業	
第23回	サスーンスタイル	サスーンスタイルカット				1回2Hずつの授業	
第24回	サスーンスタイル	サスーンスタイルカット				1回2Hずつの授業	
第25回	サスーンスタイル	サスーンスタイルカット				1回2Hずつの授業	
第26回	サスーンスタイル	サスーンスタイルカット				1回2Hずつの授業	
第27回	サスーンスタイル	サスーンスタイルカット				1回2Hずつの授業	
第28回	サスーンスタイル	サスーンスタイルカット・カラー				1回2Hずつの授業	
第29回	サスーンスタイル	サスーンスタイルカット・カラー				1回2Hずつの授業	
第30回	サスーンスタイル	サスーンスタイルカット・カラー				1回2Hずつの授業	

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 カラー	区分	必修	授業時数	60時間	対象学年	1 年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有				
学修内容	基礎のヘアカラーの塗布						
到達目標	色々なカラーの塗布技術を確実に行う						
授業の方法	授業は実習を中心に行う 必要事項を板書し、トレーニングクリームを使い、基本的なヘアカラーを練習						
成績評価の方法と基準	後期 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の 具体的内容	特になし						
実務経験に基づ く授業内容	毛髪の状態をしっかり見極め、的確な薬剤を選択する。毛髪理論や薬剤学などの理論をふまえ、カラー塗布全般の技術をレクチャーします。現役美容室として現場の体験談を交えながら分かりやすく、興味を持っていただけるように指導します。						
使用教材	JHCAヘアカラー入門 ウィッグカラー用具一式						
履修に 当たっての 留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	1年の流れ	カラーの考え方ややり方を伝える					
第2回	道具説明	ハケ、カップなど（クリーム作り）					
第3回	ブロッキング	ハケの持ち方、使い方を伝え スライスを取りダッカードとめる					
第4回	ブロッキング						
第5回	グレイカラー	4 ブロックの縁取りをし塗布 顔に薬剤をつけない					
第6回	グレイカラー						
第7回	グレイカラー	サイド塗布 スライス幅パネルの角度					
第8回	グレイカラー	バックサイド塗布 スライス幅パネルの角度					
第9回	グレイカラー	サイド塗布 スライス幅パネルの角度					
第10回	グレイカラー	バックサイド塗布 スライス幅パネルの角度					
第11回	グレイカラー	クロスチェックまで					
第12回	グレイカラー						
第13回	グレイカラー	タイム測定					
第14回	グレイカラー						
第15回	グレイカラー						
第16回	グレイカラー						
第17回	テスト	グレイカラー 仕上げまで					
第18回	テスト	グレイカラー					
第19回	おしゃれ染め	理論（中間塗布、根元塗布、毛先塗布） デモンストレーション					
第20回	おしゃれ染め						
第21回	おしゃれ染め	中間塗布 パネルの角度、塗布幅					
第22回	おしゃれ染め						
第23回	おしゃれ染め	毛先塗布					
第24回	おしゃれ染め						
第25回	おしゃれ染め	中間、毛先塗布後根元塗布					
第26回	おしゃれ染め						
第27回	おしゃれ染め	タイム測定					
第28回	おしゃれ染め						
第29回	おしゃれ染め						
第30回	おしゃれ染め						

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 カラー	区分	必修	授業時数	60時間	対象学年	1 年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有				
学修内容	基礎のヘアカラーの塗布						
到達目標	色々なカラーの塗布技術を実践に行う						
授業の方法	授業は実習を中心に行う 必要事項を板書し、トレーニングクリームを使い、基本的なヘアカラーを練習						
成績評価の方法と基準	後期 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の 具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	毛髪の状態をしっかり見極め、的確な薬剤を選択する。毛髪理論や薬剤学などの理論をふまえ、カラー塗布全般の技術をレクチャーします。現役美容室として現場の体験談を交えながら分かりやすく、興味を持っていただけるように指導します。						
使用教材	JHCAヘアカラー入門 ウィッグカラー用具一式						
履修に 当たっての 留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第31回	毛髪理論	毛先の色、本数などの基本					
第32回	毛髪理論						
第33回	色彩学	色のイメージ効果 3属性、3色					
第34回	色彩学						
第35回	薬剤理論	薬剤の種類					
第36回	薬剤理論	メリット、デメリット					
第37回	マニキュア	理論、デモンストレーション					
第38回	マニキュア	塗布					
第39回	マニキュア	塗布					
第40回	マニキュア	塗布					
第41回	ホイルワーク	ブロッキング					
第42回	ホイルワーク	11ブロック					
第43回	ホイルワーク	ブロッキング					
第44回	ホイルワーク	スライシング					
第45回	ホイルワーク	ウィービング					
第46回	ホイルワーク	ウィービング					
第47回	ホイルワーク	ウィービング					
第48回	ホイルワーク	ウィービング					
第49回	ホイルワーク	ウィービング					
第50回	ホイルワーク	ウィービング					
第51回	理論	カウンセリング					
第52回	理論	カウンセリング					
第53回	薬剤選定	相モデルの薬剤設定をし 塗布する順番を考える					
第54回	薬剤選定						
第55回	相モデル	2人1組で薬剤を使用し染める					
第56回	相モデル						
第57回	相モデル						
第58回	相モデル	2人1組で薬剤を使用し染める					
第59回	相モデル						
第60回	相モデル						

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 シャンプー	区分	必修	授業時数	30時間	対象学年	1年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有				
学修内容	シャンプーの接客、お声かけ・相モデルにてシャンプー実習・相モデルでヘッドスパ実習						
到達目標	シャンプーの基礎技術、接客を身に付け、サロン現場での即戦力を身に付ける						
授業の方法	授業は実習を中心として行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を 確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の 方法と基準	後期 1 回の授業内実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に 必要な学修の 具体的内容	技術を定着させるよう、復習を繰り返す						
実務経験に基 づく授業内容	サロンでは子供からお年寄りの方まで様々なお客様が来店されるため、様々なことを想定してシャンプーを行う ことを学生に伝え、実習していく。今のサロン技術には欠かせないヘッドスパも即戦力になるよう実習してい く。						
使用教材	教科書 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)美容実習1、技術理論1						
履修に 当たっての 留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第1回	リアシャンプー	シャンプーの目的・ブラッシングの目的・手順					
第2回	リアシャンプー	相モデルにてタオルがけ～ブラッシング実習					
第3回	リアシャンプー	相モデルにてスキャルブマッサージ実習					
第4回	リアシャンプー	相モデルにてスキャルブマッサージ実習					
第5回	リアシャンプー	リアシャンプー・ブレーンリンスデモ実習					
第6回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第7回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第8回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第9回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第10回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第11回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第12回	リアシャンプー	リアシャンプー・ブレーンリンスデモ実習					
第13回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第14回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第15回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第16回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第17回	リアシャンプー	相モデルシャンプー・チェックシートで確認					
第18回	リアシャンプー	相モデルシャンプー・チェックシートで確認					
第19回	リアシャンプー	相モデルシャンプー・チェックシートで確認					
第20回	リアシャンプー	相モデルシャンプー・チェックシートで確認					
第21回	ヘッドスパ	ヘッドスパ実習					
第22回	ヘッドスパ	ヘッドスパ実習					
第23回	ヘッドスパ	ヘッドスパ実習					
第24回	ヘッドスパ	ヘッドスパ実習					
第25回	ヘッドスパ	ヘッドスパ実習					
第26回	ヘッドスパ	アロマヘッドスパ実習					
第27回	ヘッドスパ	アロマヘッドスパ実習					
第28回	ヘッドスパ	アロマヘッドスパ実習					
第29回	ヘッドスパ	アロマヘッドスパ実習					
第30回	ヘッドスパ	アロマヘッドスパ実習					

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 シャンプー	区分	必修	授業時数	30時間	対象学年	2 年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全クラス
学修内容	サイドシャンプー技術の習得、ヘッドスパ技術の習得、バックシャンプーの復習						
到達目標	サロン就職の際のシャンプーの基礎技術習得						
授業の方法	デモンストレーション実施、相モデル実習での実習、手順確認						
成績評価の方法と基準	手順チェックテストの実施						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	就職内定後の内定サロンシャンプー実習						
実務経験に基づく授業内容	お客様接客の対応術、接客での注意すべき点、テクニックの快適性						
使用教材	シャンプーボール、シャンプーイス、シャンプー剤、その他必要道具類						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	サイドシャンプー	シャンプーブレーンリンスデモ					
第2回	サイドシャンプー	シャンプーブレーンリンスデモ					
第3回	サイドシャンプー	サイドシャンプーブレーンリンス相モデル実習					
第4回	サイドシャンプー	サイドシャンプーブレーンリンス相モデル実習					
第5回	サイドシャンプー	サイドシャンプーブレーンリンス相モデル実習					
第6回	サイドシャンプー	サイドシャンプーブレーンリンス相モデル実習					
第7回	サイドシャンプー	サイドシャンプーブレーンリンス相モデル実習					
第8回	サイドシャンプー	サイドシャンプーデモ					
第9回	サイドシャンプー	サイドシャンプーデモ					
第10回	サイドシャンプー	サイドシャンプー相モデル実習					
第11回	サイドシャンプー	サイドシャンプー相モデル実習					
第12回	サイドシャンプー	サイドシャンプー相モデル実習					
第13回	サイドシャンプー	サイドシャンプー相モデル実習					
第14回	サイドシャンプー	サイドシャンプー相モデル実習					
第15回	サイドシャンプー	サイドシャンプー相モデル実習					
第16回	サイドシャンプー	サイドシャンプー 手順チェックテスト					
第17回	サイドシャンプー	サイドシャンプー 手順チェックテスト					
第18回	サイドシャンプー	サイドシャンプー 手順チェックテスト					
第19回	サイドシャンプー	サイドシャンプー不合各者の強化					
第20回	サイドシャンプー	サイドシャンプー不合各者の強化					
第21回	サイドシャンプー	サイドシャンプー不合各者の強化					
第22回	サイドシャンプー	サイドシャンプー不合各者の強化					
第23回	サイドシャンプー	ヘッドスパ実習					
第24回	サイドシャンプー	ヘッドスパ実習					
第25回	サイドシャンプー	ヘッドスパ実習					
第26回	サイドシャンプー	ヘッドスパ実習					
第27回	サイドシャンプー	サロンシャンプー実習					
第28回	サイドシャンプー	サロンシャンプー実習					
第29回	リア、サイドシャンプー	サロンシャンプー実習					
第30回	リア、サイドシャンプー	サロンシャンプー実習					

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 スタイリング	区分	必修	授業時数	30時間	対象学年	1 年
担当教員	恩 地	実務経験	有				
学修内容	ブラシの持ち方から一束結、シニヨン、夜会、編み込み、コンテストスタイルなど						
到達目標	コームワーク、ピンング、ゴムのくくり方や似合わせ、応用のサロンスタイルまでを学びサロンに就職してから も使える知識の習得						
授業の方法	授業は、実技を中心に行う。必要事項を板書し、反復して練習を行い実技習得を目指す。学生の完成度を確認し ながら進度を決めていく。						
成績評価の 方法と基準	後期 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に 必要な学修の 具体的内容	授業で学習したことの反復練習						
実務経験に基づ く授業内容	トータルサロンを運営し日々お客様の接客をする中で時代とニーズに合ったスタイルの提供を心掛けています。 この授業が、就職した時に現場で活かすことができ一人一人の強みになるような教育をしていく。						
使用教材	スタイリング道具一式						
履修に 当たっての 留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第1回	基礎 一束	・ 道具説明 ・ 似合わせ ・ ブラシの使い方 ・ ゴムのくくり方					
第2回							
第3回	仕込み 一束	・ 基本のブロッキング ・ ブロー ・ ワックスのつけ方 ・ 土台 ・ ゴムのくくり方					ドライヤー、 ワックス必要
第4回							
第5回	シニヨン（面）	・ すき毛（たわらの作り方） ・ 上下のシニヨンの作り方 ・ ピニング ・ コームワーク					
第6回							
第7回	シニヨン（くずし）	・ ピニング ・ コームワーク ・ シニヨンのくずし方 ・ すき毛（にんじんの作り方）					
第8回							
第9回	シニヨン（カール）	・ ブロッキング ・ コームワーク ・ すき毛のつけ方 ・ 毛先のちらし方					
第10回							
第11回	夜会	・ 本夜会					
第12回							
第13回	夜会	・ 重ね夜会（逆毛の立て方）					
第14回							
第15回	編み込み	・ 編み込み（表、裏）					
第16回							
第17回	コンテスト	・ 逆毛を立てて面を生かしたスタイル					
第18回							
第19回	アレンジ①基礎	・ ホットカーラーの使い方とサロンスタイル					ホットカーラー、 コテ必要
第20回							
第21回	アレンジ②	・ ホットカーラー ・ コテ ・ モヒカンスタイル					
第22回							
第23回	アレンジ③	・ サロンスタイル					
第24回							
第25回	アレンジ④	・ サロンスタイル					
第26回							
第27回	相モデル	撮影					
第28回							
第29回	自由制作	コンテスト					
第30回							

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 国試カット	区分	必修	授業時数	100時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	国家試験第1課題（レイヤーカット・20分）カット技術習得						
到達目標	美容師国家試験合格および後期実技試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心に行う。必要事項を板書し、反復して練習を行い実技習得を目指す。学生の完成度を確認しながら進捗を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	定期試験前にチェックテストや放課後の強化レッスンをを行い、技術の完成度を高める						
実務経験に基づ	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、カット用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	机上設置、審査基準 衛生解説	国試までの流れ、審査基準等の解説・板書					
第2回	頭部ポイント ブロッキング	ヘッドシート記入、ブロッキングデモ、実習					
第3回	机上設置、道具説明 ブロッキング	道具の説明、ブロッキング実習タイムどり					
第4回	アウトライン	アウトラインデモ、実習					
第5回	ネーブセクション カット	ネーブセクションヘッドシート記入、デモ、実習					
第6回		ネーブセクション実習					
第7回	ミドルセクション カット	ミドルセクションヘッドシート記入、デモ、実習					
第8回		ミドルセクション実習					
第9回	トップセクション カット	トップセクションヘッドシート記入、デモ、実習					
第10回		トップセクション実習					
第11回	フロントサイドセク ションカット	フロントサイドセクションヘッドシート記入、デモ、実習					
第12回		フロントサイドセクション実習					
第13回	復習	各セクションのカットの手順確認					
第14回							
第15回							
第16回							
第17回							
第18回							
第19回							
第20回							
第21～22回						タイム計測	タイム40分計測
第23～25回	タイム計測	タイム40分計測					
第26～27回	タイム計測	タイム40分計測					
第28～30回	タイム計測	タイム40分計測					
第31回	準備流れ確認 タイム計測	準備流れ説明、実習、タイム35分計測					
第32～40回	タイム計測 片付け説明	タイム35分計測、片付け説明、実習					
第41～50回	タイム計測	タイム30分計測					
第51～65回	タイム計測	タイム25分計測					
第66～80回	タイム計測	タイム20分計測					
第81～100回	タイム計測	タイム19分計測					

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 国試第2課題 (ワインディング)	区分		必修		授業時数	110時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験		有				コース	全コース
学修内容	国家試験第2課題（ワインディング・20分）ワインディング技術習得 採点基準・ワインディング技術解説 ウィッグによる反復練習 衛生審査基準解説								
到達目標	美容師国家試験合格および後実技記試験で60点以上必達								
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。								
成績評価の方法と基準	後期1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。								
授業時間外に必要な学修の具体的内容	定期試験前にチェックテストや放課後の強化レッスンをを行い、技術の完成度を高める								
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく								
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、ワインディング道具一式								
履修に当たっての留意点									
各コマにおける授業計画									
回	主 題	授 業 内 容						備 考	
第1回	机上設置、審査基準 衛生解説	国試までの流れ、審査基準等の解説・板書							
第2～10回	配列 シェーブ ステムの確認、強化 センターの強化	・ブロッキング、スライス線などの確認と練習 ・センターのロッドの位置（正中線）、水平の確認と練習 ・センターのスライス線、ステムの角度の確認と練習 ・ブロック毎、全頭のタイム取り など							
第11～15回	全体のバランス強化 バックサイドの強化 全頭タイム20分	・センターとバックサイドのロッドのつながり及び配列の確認と強化 ・左右のシンメトリー ・バックサイドのラウンド ・○×採点の審査項目確認							
第16～20回	全体のバランス強化 バックサイドの強化 全頭タイム20分	・センターとバックサイドのロッドのつながり及び配列の確認と強化 ・左右のシンメトリー ・バックサイドのラウンド ・○×採点の審査項目確認							
第21～25回		・チェックテストに向けての練習 ・チェックテストにて技術レベルの確認と底上げ							
第26～33回	シェーブ ステムの強化 フロントの強化 全頭タイム18分	《シェーブ》 ・ストランドのシェーブ ・毛髪の重なり、ゆるみ ・毛先の処理 《ステムの角度と方向性》 ・オンベースと1/2オフベースのステムの状態 又そのつながりの状態 ・ステムの角度・方向とロッドの浮き 《フロント》 ・フロントのスライスの取り方とロッドのおさまり							
第34～42回	配列 シンメトリー強化 ラバーのかけ方強化 全頭タイム20分	・バックサイド・サイドのシンメトリー ・スライス線のゆがみ 《ラバーのかけかた》 ・ロッドの中央に平行にかける							
第43～51回	国家試験採点基準を元に レベルアップ 全頭19分	《採点基準》 ・ロッドのつながりと配列 ・ステムの角度と方向性 ・シェーブ ・シンメトリー							
第52～55回	国家試験採点基準を元に レベルアップ 全頭19分	《採点基準》 ・ロッドのつながりと配列 ・ステムの角度と方向性 ・シェーブ ・シンメトリー							

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 国試第2課題 (ワインディング)	区分	必修	授業時数	110時間	対象学年	2 年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	国家試験第2課題（ワインディング・20分）ワインディング技術習得 採点基準・ワインディング技術解説 ウィッグによる反復練習 衛生審査基準解説						
到達目標	美容師国家試験合格および後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	後期1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	定期試験前にチェックテストや放課後の強化レッスンをを行い、技術の完成度を高める						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、ワインディング道具一式						
履修に当たっての留意点							
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第56～70回	国家試験採点基準を元にレベルアップ 全頭タイム18分	・タイムアップ（時間に余裕をつくる） ≪採点基準≫ ・ロッドのつながりと配列 ・ステムの角度と方向性 ・シェーブ ・シンメトリ ・〇×採点項目確認				シミュレーション	
第71～110回	国家試験採点基準を元にレベルアップ 全頭タイム18分 国家試験衛生対策	≪採点基準≫ ・ロッドのつながりと配列 ・ステムの角度と方向性 ・シェーブ ・シンメトリ ≪衛生対策≫ ・準備時間の練習 ・整理時間の練習 ・用具類の衛生・用具類の取り扱い ・身体、服装の衛生 ・禁止事項 など				シミュレーション	
						シミュレーション	

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 国試第2課題 (セッティング)	区分		必修		授業時数	110時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験		有					全コース
学修内容	国家試験第2課題（オールウェーブセッティング・25分）セッティング技術習得 採点基準・セッティング技術解説 ウィッグによる反復練習 衛生審査基準解説								
到達目標	美容師国家試験合格								
授業の方法	授業は実習を中心として行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を 確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。								
成績評価の 方法と基準	後期1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。								
授業時間外に 必要な学修の 具体的内容	特になし								
実務経験に基づ く授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく								
使用教材	教科書 美容技術理論Ⅰ 美容実習Ⅰ（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、セッティング用具一式								
履修に 当たっての 留意点	特になし								
各コマにおける授業計画									
回	主 題	授 業 内 容						備 考	
第1回	机上設置、審査基準 衛生解説	国試までの流れ、審査基準等の解説・板書							
第2回	復習	ウェーブ構成・幅・手順の確認							
第3回		ウェーブ構成・幅・手順の確認							
第4回		ウェーブ構成・幅・手順の確認							
第5～25回	国家試験課題 ノーパート 7段構成	タイム計測（25分） バランス強化							
第26～35回	国家試験衛生対策	《衛生対策》 ・準備時間の練習 ・整理時間の練習 ・用具類の衛生・用具類の取り扱い ・身体、服装の衛生 ・禁止事項 など							
第36～45回	国家試験課題 ノーパート 7段構成	国家試験採点基準を元にレベルアップ タイム計測（24分） バランス強化							
第46～55回	国家試験課題 ノーパート 7段構成	国家試験採点基準を元にレベルアップ タイム計測（24分） バランス強化							

2025年度 シラバス

科目名	美容実習 国試第2課題 (セッティング)	区分	必修	授業時数	110時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 岩本 大野 奥田 尾崎 木下 清水 中西 中村 藤本 吉川 渡部	実務経験	有				全コース
学修内容	国家試験第2課題（オールウェーブセッティング・25分）セッティング技術習得 採点基準・セッティング技術解説 ウィッグによる反復練習 衛生審査基準解説						
到達目標	美容師国家試験合格						
授業の方法	授業は実習を中心として行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を 確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の 具体的内容	特になし						
実務経験に基づ く授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 美容技術理論1 美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、セッティング用具一式						
履修に 当たっての 留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第56～65回	国家試験課題 ノーパート 7段構成	国家試験採点基準を元にレベルアップ タイム計測（24分） バランス強化				シミュレーション	
第66～75回	国家試験課題 ノーパート 7段構成	国家試験採点基準を元にレベルアップ タイム計測（24分） バランス強化					
						シミュレーション	
第76～90回	国家試験課題 ノーパート 7段構成	国家試験採点基準を元にレベルアップ タイム計測（23分） バランス強化					
						シミュレーション	
第91～110回	国家試験課題 ノーパート 7段構成	国家試験採点基準を元にレベルアップ タイム計測（23分） バランス強化					
						シミュレーション	